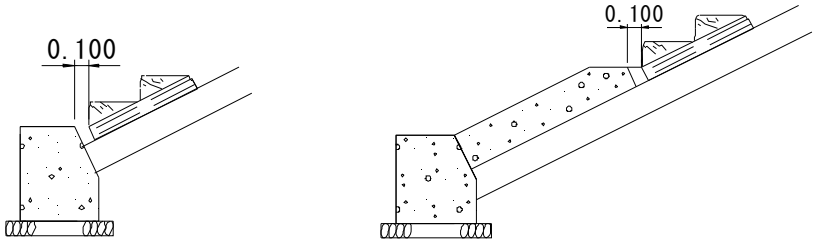
階段ブロック「ビオステアー」施工要領書

平成 28 年 6 月 10 日

株式会社 総 合 開 発
コンクリート事業部

(1)　設計図書に基づき法面前端部に法留基礎を設置した後、法面を所定の勾配に整地し、基礎材（砕石）を敷き均す。

(2)　ブロックに専用吊り具を取り付け、クレーンにより法留基礎上に据え付ける。このとき連結鉄筋と横鉄筋の溶接空間を確保するため、図-1 に示すように基礎とブロックの間を 10ｃｍ程度開けておく。また、陸上法面で使用する場合と、階段幅 2m以下（芋積み）で両端に小口止めが施工される場合には連結鉄筋を使用しない。



根入れ部が現場打ちになる場合

図-1



写真-1

(3)　2 段目より千鳥状になるように据え付ける。



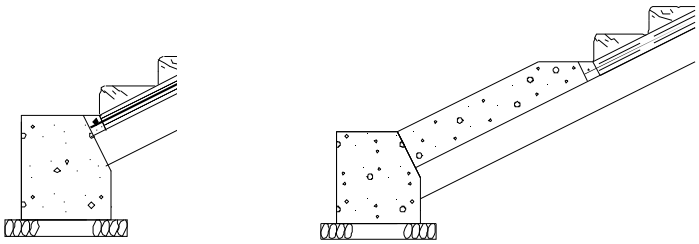
写真-2



写真-3

(4)　所定段数据付け完了後法頭からブロック貫通孔に連結鉄筋 D13mm を挿入する。
また、先に設置された連結鉄筋にブロックを通す施工もできる。

(5)　基礎部、天端部で連結鉄筋と横鉄筋を溶接し、基礎部隙間をコンクリート充填、
天端部に天端コンクリートを打設する。図-2、図-3　完了



根入れ部が現場打ちになる場合

図-2　基礎部

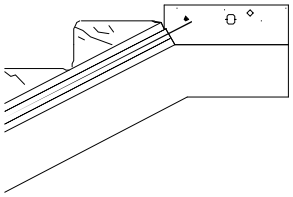


図-3　天端部

※ 法長が長い場合は、鉄筋の長さによって、ブロック据付け途中で鉄筋を溶接する。

※ 端部は小口止コンクリートを打設する。

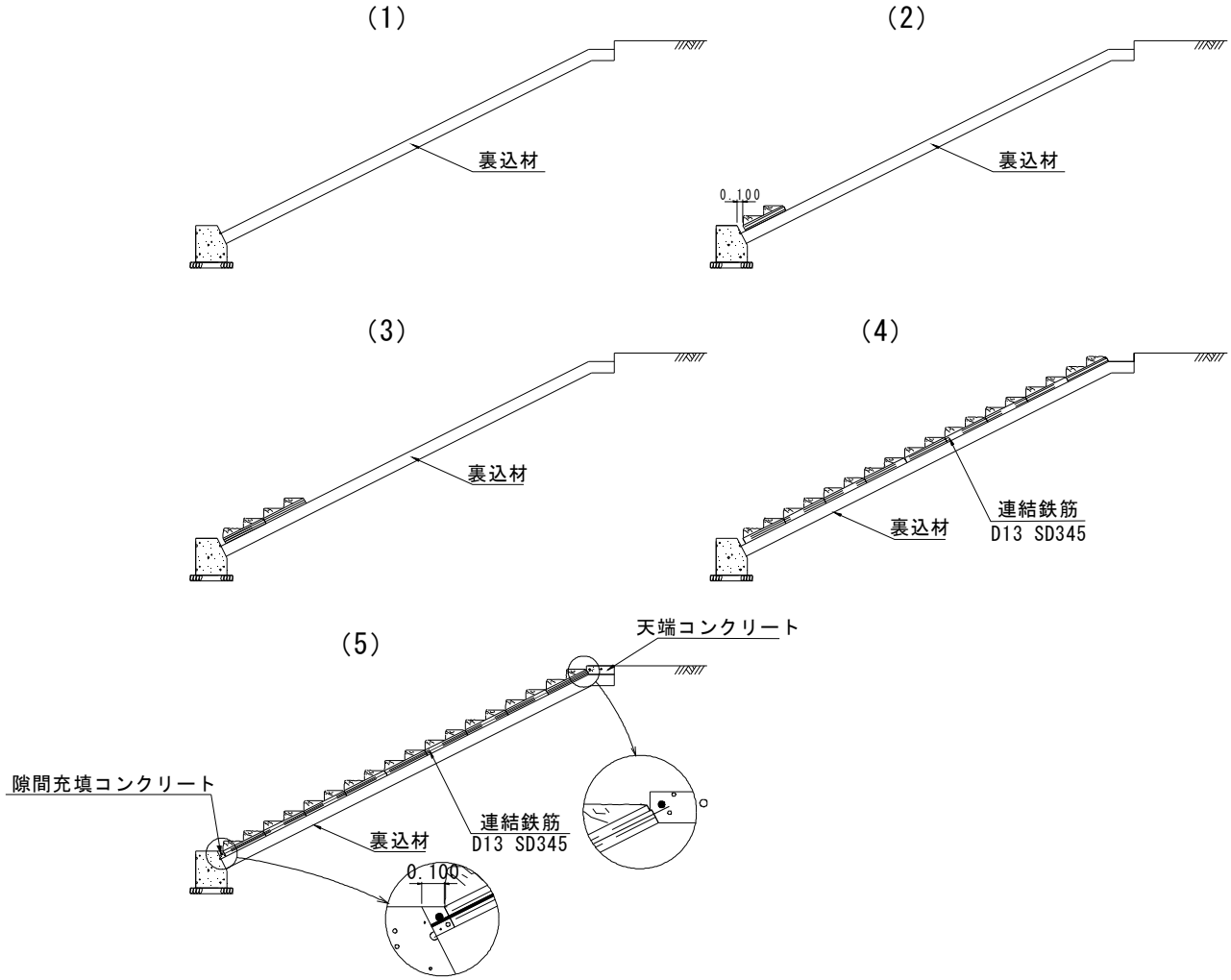
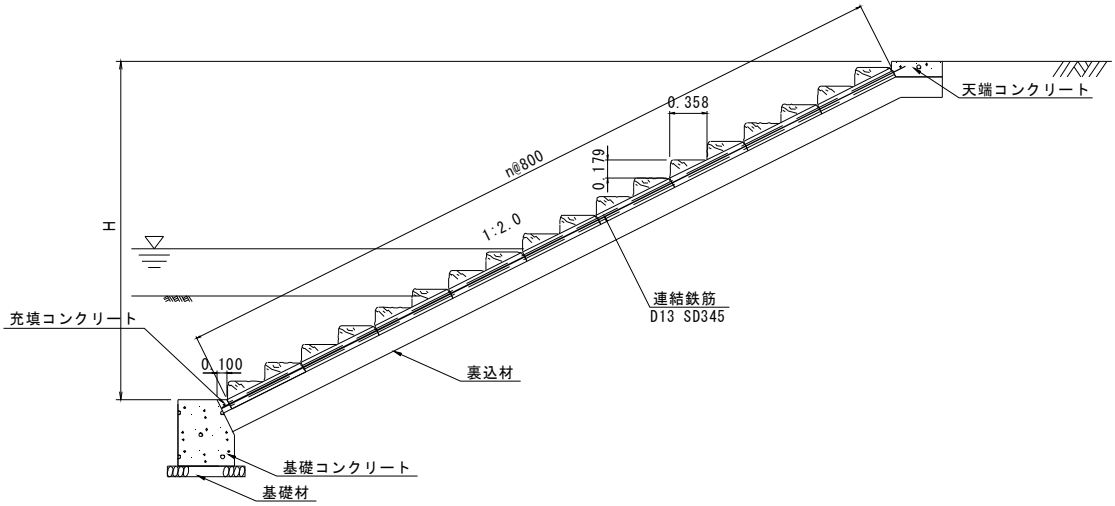


図-4　施工手順
（基礎コン上に施工する場合）

標準断面図



平面図

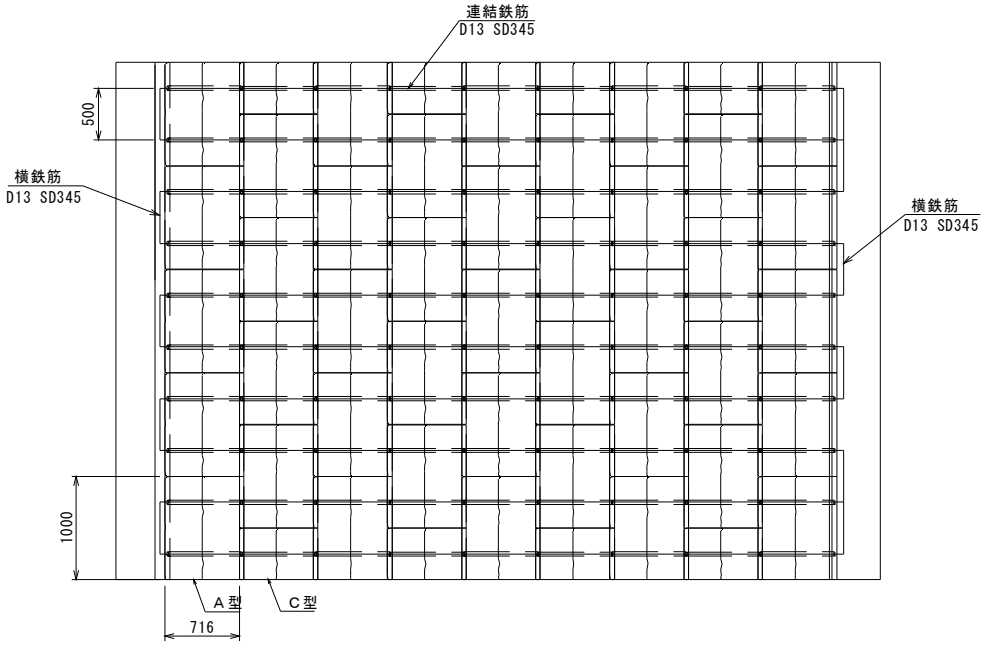
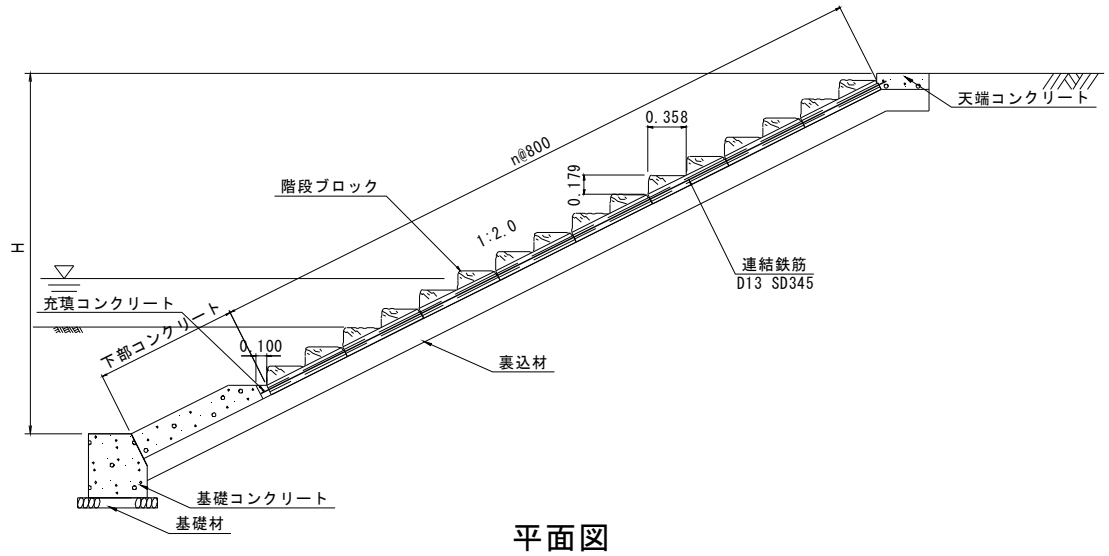


図-5　標準構造図

標準断面図
（根入れ部が現場打ちになる場合）



平面図

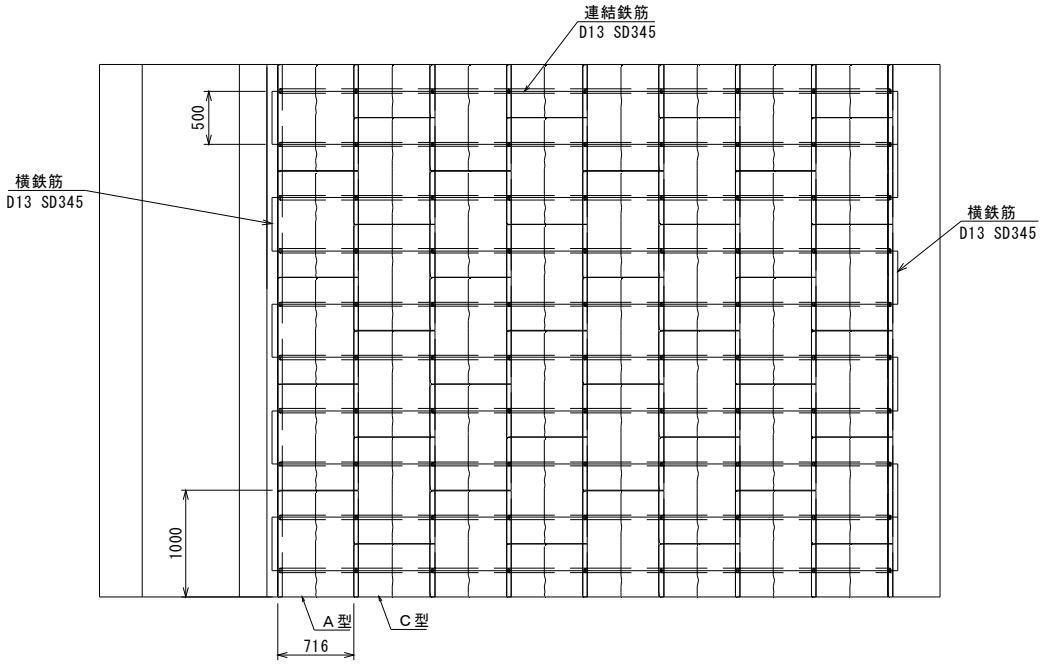
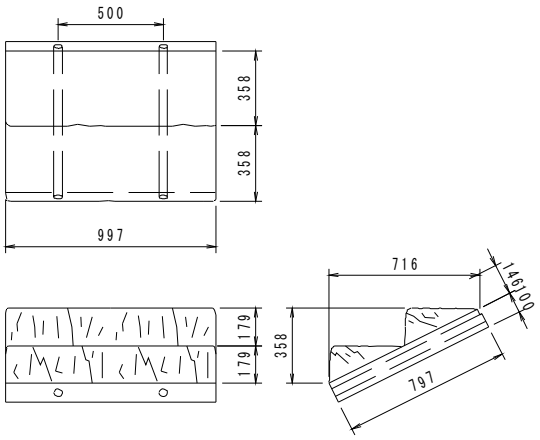


図-6　標準構造図

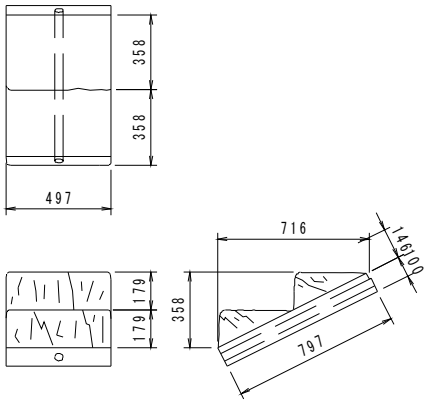
〃

Ⅱ型200型Ａ型



コンクリート体積　m3	製品質量　kg
0.133	300

Ⅰ・Ⅱ型200型Ｃ型



コンクリート体積　m3	製品質量　kg
0.066	150

図-7　製品構造図